

「先物取引研究」著書紹介

●花輪 俊哉（はなわ としや）：中央大学商学部 教授

1931年生まれ。一橋大学経済学部卒業。一橋大学商学部教授を定年退職後、現在中央大学商学部教授。一橋大学名誉教授。

〈主な著書・論文〉

『貨幣と金融経済』（東洋経済新報社、1980年）、『金融経済』（東洋経済新報社、1982年）、『日本の金融経済』（編著・有斐閣、1995年）、『金融経済入門』（共著・東洋経済新報社、1996年）

●小川 英治（おがわ えいじ）：一橋大学商学部 助教授

1957年生まれ。一橋大学商学部卒業。一橋大学商学部専任講師を経て、現在一橋大学商学部助教授。

〈主な著書・論文〉

『金融経済入門』（共著・東洋経済新報社、1996年）、『国際通貨システムの安定性』（東洋経済新報社、1998年（近刊予定））

●三隅 隆司（みすみ たかし）：一橋大学商学部 助教授

1962年生まれ。一橋大学商学部卒業。一橋大学商学部専任講師を経て、現在一橋大学商学部助教授。

〈主な著書・論文〉

「貸出契約と再交渉」『一橋論叢』（1992年）、「メインバンクの保険提供機能と融資契約」（花輪俊哉編『日本の金融経済』有斐閣、1995年）

●鈴木 芳徳（すずき よしのり）：神奈川大学経済学部 教授

1937年生まれ。九州大学経済学部卒業。同大学大学院経済学研究科博士課程終了。現在神奈川大学経済学部教授

〈主な著書・論文〉

『信用制度と株式会社』（新評論、1974年）、『証券経済論』（税務経理協会、1979年）、『株式会社の経済学説』（新評論、1983年）、『金融論』（ミネルヴァ書房、1995年）

●野田 弘英（のだ ひろひで）：東京経済大学経済学部 教授

1941年生まれ。九州大学経済学部卒業。同大学大学院経済学研究科博士課程終了。埼玉大学経済学部教授を経て、現在東京経済大学経済学部教授。

〈主な著書・論文〉

『金融資本の構造』（新評論、1981年）

●原田 善教（はらだ よしのり）：東北学院大学経済学部 助教授

1956年生まれ。大分大学経済学部卒業。九州大学大学院経済学研究科博士課程終了。現在東北学院大学経済学部助教授

〈主な著書・論文〉

「持株会社支配の構造と2つのタイプの持株会社」（深町郁弥編『ドル本位制の研究』日本経済評論社、1993年）

●仁科 一彦（にしな かずひこ）：大阪大学大学院経済学研究科 教授

1946年生まれ。東京大学経済学部卒業。大阪大学経済学部助教授を経て、現在大阪大学大学院経済学研究科教授

〈主な著書・論文〉

『国際市場時代の財務戦略』（日本経済新聞社、1993年）、『財務破壊』（東洋経済新報社、1995年）、『現代ファイナンス理論入門』（中央経済社、1997年）、“A Proposal of No Cash Dividend Rule in Japan” (*Applied Financial Economics* 1994,4,pp.181-191)、 “Return Dynamics of Japanese Stock Index Option” (*Japanese Economic Review*, Vol.48, No.1 1997)

●竹内 哲治（たけうち てつじ）：和歌山大学経済学部 講師

1965年生まれ。大阪大学大学院経済学研究科後期博士課程終了。現在和歌山大学経済学部講師

〈主な著書・論文〉

「金先物価格のリスク・プレミアムと裁定機会の実証」（『ファイナンス研究』No.22、1997年）

●賀来 康一（かく こういち）：農林水産省 畜産試験場 栄養部 主任研究官

1959年生まれ。東京大学農学部畜産獣医学科卒業。東京大学大学院農学系研究科畜産獣医学専攻修士課程修了。農林水産省畜産試験場企画連絡室企画科主任研究官を経て、現在農林水産省畜産試験場栄養部主任研究官

〈主な著書・論文〉

「鶏肉国内流通と国産ブロイラー価格」（『日本畜産学会報』1997年）、「国産ブロイラー正肉の価格変動に関する先物市場上場適正」（『日本畜産学会報』1998年）、「米国ブロイラー・鶏卵の価格変動と先物市場上場の可能性」（『日本畜産学会報』1998年）、「米国内のブロイラー流通と価格形成」（『日本畜産学会報』1998年）

●駒井 亨（こまい とおる）：京都産業大学 経営学部 教授

1932年生まれ。京都大学大学院農学系研究科修士課程修了。広島大学水畜産学部・生物生産学部講師、神戸大学農学部講師、京都産業大学教養学部教授を経て、現在京都産業大学経営学

部教授

〈主な著書・論文〉

『食品産業論』（養賢堂、1994年）、『アグリビジネス論』（養賢堂、1998年）、「食鳥取引規格と食鳥小売規格」（『日本家禽学会誌』、1995年）、「家禽の商品価値とマーケティング」（『日本家禽学会誌』、1996年）

●義村 政治（よしむら せいじ）：明海大学経済学部 講師

1963年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。第一勧業銀行、慶應義塾大学経済学部研究助手を経て、現在明海大学経済学部講師

〈主な著書・論文〉

『現代マクロ経済分析』（共著：東大出版会、1997年）、「Dynamic Properties of Monetary Formation in Japan」（*Meikai Economic Review*, Vol.9, No.1, 1997）

●應和 邦昭（おうわ くにあき）：東京農業大学国際食料情報学部 助教授

1944年生まれ。國學院大學大学院経済学研究科博士課程終了。現在東京農業大学国際食料情報学部助教授。

〈主な著書・論文〉

『イギリス資本輸出研究』（時潮社、1989年）、「WTO と貿易システム」（『21世紀の国際経済』第三章、新評論、1997年）、「WTO 体制と21世紀の国際経済関係 — 国際分業と食料・環境問題 —」（『食料環境経済学入門』第1章、筑波書房、1998年）、「農産物貿易の自由化と開発途上国」（『農村研究』第82号、1995年）、ほか。

●立岩 寿一（たていわ としかず）：東京農業大学国際食料情報学部 助教授

1953年生まれ。東京大学大学院農学系研究科農業経済学専攻博士課程終了。現在東京農業大学国際食料情報学部助教授。

〈主な著書・論文〉

『現代アメリカ農業の形成』（御茶の水書房、1990年）、「先進国の農業問題」「日本の農業問題」（『食料環境経済学入門』第2章・第4章、筑波書房、1998年）、「現代コーンベルト農法に関する一考案」（『農村研究』第76号、1993年）、ほか。